市長と語ろうタウンミーティング開催結果 (会議録)

団体等の 名 称	滝野工業団地連絡協議会(会長 時宗 恒雄)		
開催日時	平成29年4月21日(金) 17時00分~18時00分		
開催場所	加東市上滝野		
意 見	【参加者】	【市】	
交換者	滝野工業団地連絡協議会	・市長 安田 正義	
	理事、監事等26人	・地域創造部長 中村 隆文	
	…別紙「参加者名簿」のとおり	・地域創造部商工観光課長 田中 孝明	
		・地域創造部商工観光課主査 松本 裕介	
		・地域創造部商工観光課主査 上山 剛史 (事務局)	
		・協働部長 時本 敏行	
		• 協働部企画協働課副課長 下岡 正裕	

滝野工業団地連絡協議会·参加者名簿

事業所名	理事	幹事	_
立井電線㈱ 兵庫工場	総務部長 田代 英樹	総務担当主査 仲山 佳秀	総務部担当部長 高畑 和正
I DE C㈱ 滝野事業所	所長 北浦 博己	総務担当推進リーダー 佐々木 裕司	
古林紙工㈱ 滝野工場	工場長沖田学	管理グループリーダー 繁田 泰三	
エスケー化研㈱ 兵庫工場	工場長 小山 茂樹	課長 山内 芳彦	課長 中山 勲史 主任 山口 健
王子コンテナー(株) 兵庫工場	工場長石川清士	業務部長 太田 拓輝	
アスカカンパニー(株) 本社工場	取締役本社工場工場長 小林 孝洋	総務課 山口 忠廣	
稲坂油圧機器㈱	(欠席)	管理グループリーダー 前田 恭男	総務課長 蓬莱 重樹
エースコック(株) 関西滝野工場	(欠席)	総務グループリーダー 百田 直裕	
(㈱アライドマテリアル 播磨製作所	播磨製作所長 森田 一樹	播磨人事総務グループマネージャー 北村 尚久	
凸版印刷(株) 滝野事業所	工場長浜田慎哉	総務課長高瀬久史	
積水成型工業㈱ 兵庫滝野工場	工場長 高田 正朋	企画管理課長 藤原 晴康	
三和機工㈱ 滝野工場	代表取締役社長 時宗 恒雄	総務部副主任 小川 純二	

◆意見交換のテーマ:雇用対策の充実について

発言者	意見交換の概要/発 言 内 容
市	就職情報サイト「マイナビ」の地元就職に関する調査結果では、兵庫県出身者の約6割が 地元就職を希望するものの、「地元までの距離・時間」、「地元までの交通費」が障害となっ ているとのデータが示されていることなどから、兵庫県は首都圏での企業説明会や、面接時 の旅費助成などの取組を展開している。
参加者 	当社が社員用住居を探すうえで重要視するのは、「飲食店やスーパーマーケット、商業施設の近接」であり、加西、福崎地域を選択している状況である。加東市は買い物に不便という印象があるので、選択肢から外している。
市	滝野地域では、民間の集合住宅の建設も見受けられ、集合住宅の件数は増えているが、需要に追い付いていないと思われる。
参加者	当社では今年度地元工業高校から1名を採用できたが、地元工業高校の求人倍率は3~4 倍という売り手市場の状況が続いている。今後、高校生の採用も難しくなる傾向にあるため、 地元高校との連携した施策を検討することが有益ではないか。 また、市内の工業団地用地は完売したとのことだが、次の工業団地計画はないのか。
市長	新たな工業団地用地の選定の検討は、行っている。 今後も市内に工業団地用地の需要はあると思われるが、工業団地用地の新たな創出については、様々な観点から長期的かつ慎重な見極めが必要と考えている。
市	地元工業高校の進路状況をみると、西脇工業高校では近年進学率が増加傾向にある(平成28年度:進学率42%。H25年度:38%)。そのため、進学先と連携した対策も講じることが必要と考える。 小野工業高校では、高い就職率(平成28年度:78%)で、3分の2は地元(北播磨地域内)へ就職している。各校の状況に応じた対応が必要といえる。
参加者	労働力の確保、多様な人材の活用のためには、子育て女性をいかに採用するかが重要であり、そのためには託児所や保育所の充実が不可欠である。 また、交通網の充実も重要である。滝野工業団地と滝野社インターの間のアクセスはタクシーを利用せざるを得ない。 ビジネスホテルをぜひ誘致されたい。当社では長期間(2か月間)の新人研修や、遠方からの訪問者の宿泊の機会があり、ビジネスホテルの需要は大きいものがある。
市	労働力不足の解消を図るためには、団塊の世代の活用と子育て女性の職場復帰が不可欠となっている。 市では南山地域内に平成29年4月「南山活性化支援施設Mina-Kuru(ミナクル)」を竣工し、児童館事業を展開するとともに、子育て中の女性を対象とした就労相談業務を実施することにしている。この取組を通して、結婚、出産で離職した女性が職場復帰することを促して、労働力の確保につなげていきたい。 ビジネスホテルの誘致については、候補地の選定、土地の権利調整、ホテルの建築、管理運営の形態検討など、各分野での調整に鋭意取り組んでいる。
市長	保育所については、社地域内に新たに300人規模の認定こども園を、平成31年度に供用 開始する計画を持っている。引き続き、待機児童を出さないよう取り組みたい。

市	交通網整備に関しては、このほど加東市地域公共交通網形成計画を策定し、市内公共交通
	の実情と課題は認識しているところである。
	今後、課題解決に向けた取組を進めていく。
市長	国土交通大臣政務官の藤井比早之衆議院議員からは、大阪から松江を結ぶ「山陰新幹線計
	画」や、神戸から北播磨、但馬を結ぶ「高速道路計画」について、構想があると伺っている。
	特に「高速道路計画」の実現については、本市にも大変有益であるため期待するところで
	あり、近隣市と連携して働きかけていきたい。
参加者	東京本社へ新幹線で出向く際は、高速バス利用で新大阪駅へ出ているが、神戸が近くなれ
	ば新神戸駅を利用することを考える。さらには神戸からの通勤も可能となるのではないか。
	転勤者の定住において障害となるのは、やはり商業施設ではないか。普段の買い物は市内
	でするが、「子供の誕生日プレゼントを買いに行く」となると、神戸方面へ出向くことを考
	える。(大型)商業施設の誘致も重要ではないか。
	当社内の新婚者においても、都市部へ住みたがる傾向は見受けられる。若い世代を市内に
	留める、または呼び戻すには加東市のブランド力の向上が不可欠であると考える。
市	北播磨地域内の商業施設は現在、全てイオングループとなっている。
	本市においても既存のイオンが撤退しないよう、いかに人の流れを作れるか、いかに地域
	ポテンシャルを高めるかを考えていきたい。
参加者	加東市内では商業地域が分散していると感じる。
	加東市は3町が合併しているが、加東市のまちづくりの中心となるところが見えないと思
	う。まちづくりの中心(拠点)を示すことが重要ではないか。
市長	旧3町とも、地域の良さがあるため、どこが中心とは答えにくい。
参加者	私もまちづくりの拠点が分散していると感じており、そのために市の魅力を感じられない
	のではないか。
	例えば、やしろショッピングパークBio周辺に、ホテル、ターミナルなど、市の核とな
	る場所を作れば、人が寄ってくると思う。
参加者	平成 28 年度に、西脇工業高校体育館で北播磨県民局が実施した「高校生のための地元企
	業展示・説明会」に参加して、大変効果的であったと感じた。引き続き、生徒、学生が企業
	を知ることのできる取組を展開していただきたい。
	また、パートの確保が急務という状況にあり、あらゆる機会を通して人材確保に努めたい
	と考えている。